

十戒シリーズ:第七戒 “姦淫してはならない”

「結婚を大事にする」

出エジプト記 20:14

2017.09.03 HKJCF

1

概観

十戒の第七戒を通して、神様によって制定された結婚、また聖書から一夫多妻、売春、婚前交渉、同性婚などの倫理問題について、正しい福音理解を学んでいきたい。

アウトライン

1. 本物:結婚と性について
2. 偽物:一夫多妻と売春について
3. 現代:婚前交渉と同性婚について
4. 適用:イエス様と一体になる

2

1. 本物:結婚と性について

- 1) 神の御心:**神の形の尊さ**、「生めよ、増えよ、地を満たせ」(創世記 1:27-28)。
- 2) 結婚の制定:**①父母を離れる ②二人は一体となる**(創世記 2:24)。**独占契約**;安定な社会の基礎単位:**幸せな家庭**。
- 3) 性について:互いの喜び(Iコリント 7:1-5);**愛の表現、夫婦だけの特権**。
- 4) 罪の認識:アビメレク(創 20:1-3);ヨセフ(創 39:9);**ダビデ**(IIサムエル 12:13)。**神様との関係が大事**。律法の要求(申命記 22:22-29)。

3

2. 偽物:一夫多妻と売春について

- 1) 一夫多妻:旧約は容認(出エジプト記 21:10-11;申命記 21:15-17);**レビレート婚**(申命記 25:5-6)。**不和の原因**:ヤコブ、エルカナなど。
- 2) 一夫一妻:**新約から徐々に浸透**(マタイ 19:5-6; Iテモテ 3:1-2; 3:12)。
- 3) 売春:律法で禁じられている(申命記 23:17-18)。男娼(I列王記 14:24; II列王記 23:7)。**偶像礼拝と共に、イスラエル国が滅ぼされた**。
- 4) 霊的な交わり:**ただ肉体の交わりではない**(Iコリント 6:15-20);**聖霊の宮の認識**。

4

3. 現代:婚前交渉と同性婚について

- 1) 婚前交渉:姦淫ではなく**不品行**。それを避けるように(ガラテヤ 5:19; Iテサロニケ 4:3-8)。
- 2) 性と結婚の見直:性と結婚は**セット**。性は**①安全 ②責任 ③契約が必須条件**。
- 3) 同性婚:聖書に禁じられている(レビ記 18:22; 20:13; ローマ 1:26-27)。**結婚の定義**:一人の男性と一人の女性。
- 4) 墮罪の結果:男色は**罪の表れの一つ**;特別に悪い罪ではない(Iコリント 6:9-11)。大事なことは**イエス様に聖められ、救われること**。

5

4. 適用:イエス様と一体になる

- 1) 結婚の奥義:**結婚⇒キリストと教会**(エペソ 5:31-32)。**イエス様との関係が焦点**。
- 2) 離れる:**聖別**。姦淫しない⇒ほかのもので自分を満たさない:**神様だけを愛する**。
- 3) 一体となる:**だんだん似てくるように**。花嫁は頭なる**イエス様に従う**。結婚と同じように、**聖霊の助けがなければ難しい**。
- 4) 小羊の婚宴:**独身者も既婚者もイエス様が必要**。結婚を通して、**イエス様との再会のすばらしさが示唆されている**(黙示録 19:7-9)。

6